

令和3年度

全国学力・学習状況調査結果について



令和3年9月

山口県教育庁義務教育課

## 目 次

1 教科に関する結果	P 1
(1) 全体の結果	P 1
(2) 各教科の結果	P 1
(3) 具体的な問題と解答状況	P 7
2 質問紙調査の結果	P 19
(1) 児童生徒質問紙	P 19
(2) 学校質問紙	P 28
3 学力向上に向けた今後の取組	P 38

### 《令和3年度全国学力・学習状況調査の概要》

- 目 的
- ・義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
  - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査期日 令和3年5月27日（木）
- 調査方式 悉皆調査
- 実施学校数・児童生徒数（山口県）
- |         |                                    |         |
|---------|------------------------------------|---------|
| 【小学校6年】 | 公立小学校 265校、特別支援学校 2校               | 11,018人 |
| 【中学校3年】 | 公立中学校 126校、中等教育学校 1校、<br>特別支援学校 3校 | 10,720人 |
- 調査内容
- ①教科に関する調査（小学校 国語、算数 中学校 国語、数学）
- ・調査問題では、下記1）と2）を一体的に問う。
    - 1) 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
    - 2) 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
- ・児童生徒に対する調査（児童生徒質問紙）
  - ・学校に対する調査（学校質問紙）

## 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

### 1 教科に関する結果

#### (1) 全体の結果

- 小学校では、国語、算数ともに全国平均と同程度という結果であった。
- 中学校では、国語、数学ともに全国平均と同程度という結果であった。

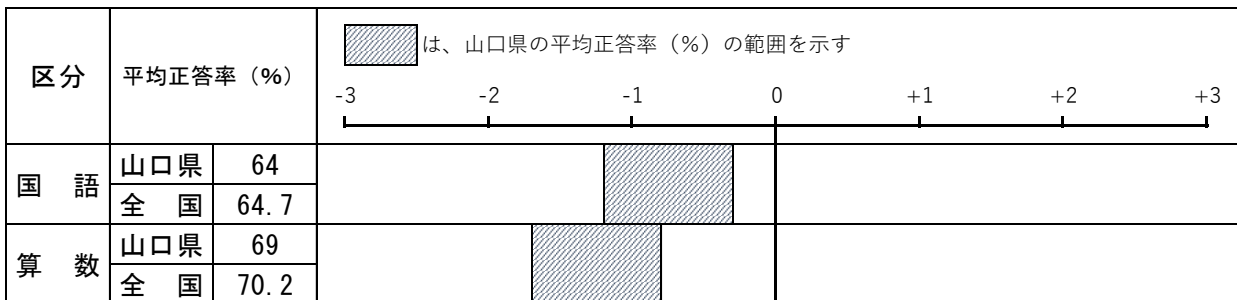
#### (2) 各教科の結果

##### ①全国と本県の平均正答数、平均正答率の比較

※ 平成29年度から、都道府県等における各教科の平均正答率は整数値で提供されているため、全国平均との差を範囲で示している。

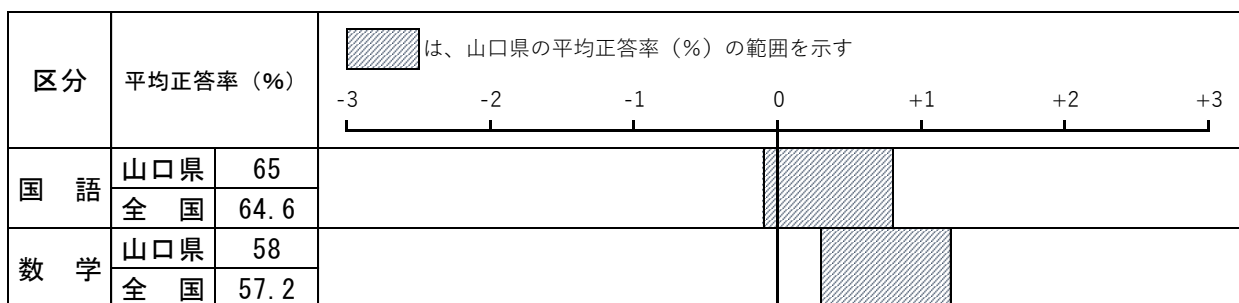
##### 【小学校】

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.0/14	9.1/14	64	64.7
算 数	11.1/16	11.2/16	69	70.2



##### 【中学校】

	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.1/14	9.0/14	65	64.6
数 学	9.2/16	9.1/16	58	57.2



〔参考〕過去の調査での平均正答数と平均正答率

○平成31年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語	9.5/14	8.9/14	68	63.8
算数	9.4/14	9.3/14	67	66.6

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語	7.4/10	7.3/10	74	72.8
数学	9.8/16	9.6/16	61	59.8
英語	11.6/21	11.8/21	55	56.0

○平成30年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	8.6/12	8.5/12	72	70.7
国語B	4.6/ 8	4.4/ 8	57	54.7
算数A	8.9/14	8.9/14	64	63.5
算数B	5.2/10	5.1/10	52	51.5
理 科	9.9/16	9.6/16	62	60.3

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	24.6/32	24.3/32	77	76.1
国語B	5.5/ 9	5.5/ 9	61	61.2
数学A	24.2/36	23.8/36	67	66.1
数学B	6.5/14	6.6/14	46	46.9
理 科	18.0/27	17.9/27	67	66.1

○平成29年度

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	11.4 / 15	11.2 / 15	76	74.8
国語B	5.2 / 9	5.2 / 9	58	57.5
算数A	11.8 / 15	11.8 / 15	79	78.6
算数B	5.0 / 11	5.1 / 11	45	45.9

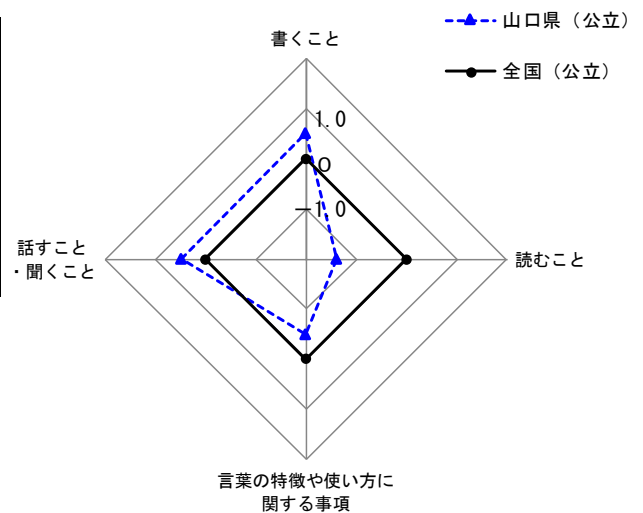
中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国語A	25.4 / 32	24.8 / 32	79	77.4
国語B	6.6 / 9	6.5 / 9	73	72.2
数学A	23.9 / 36	23.3 / 36	66	64.6
数学B	7.4 / 15	7.2 / 15	49	48.1

## ②領域別平均正答率

### 【小学校 国語】

「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、全国平均をやや上回っている。  
 「言語の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均をやや下回り、「読むこと」については、全国平均を下回っている。

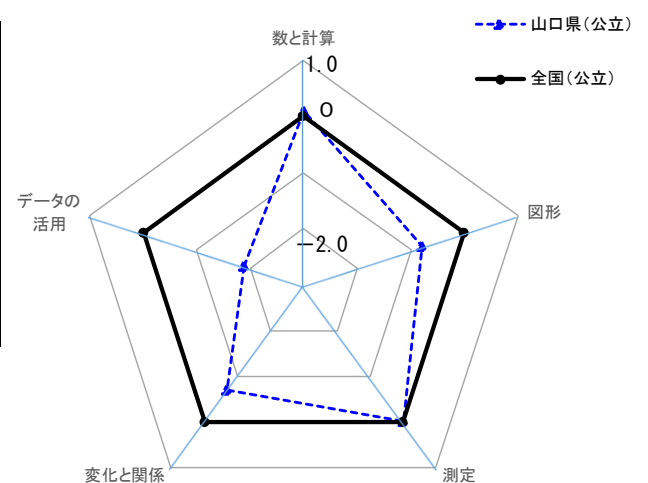
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	14			
話すこと・聞くこと	3	78.3	77.8	+0.5
書くこと	2	61.2	60.7	+0.5
読むこと	3	45.8	47.2	-1.4
言語の特徴や使い方に関する事項	6	67.8	68.3	-0.5



### 【小学校 算数】

「数と計算」「測定」については全国平均と同程度である。「図形」「変化と関係」「データの活用」については、全国平均を下回っている。

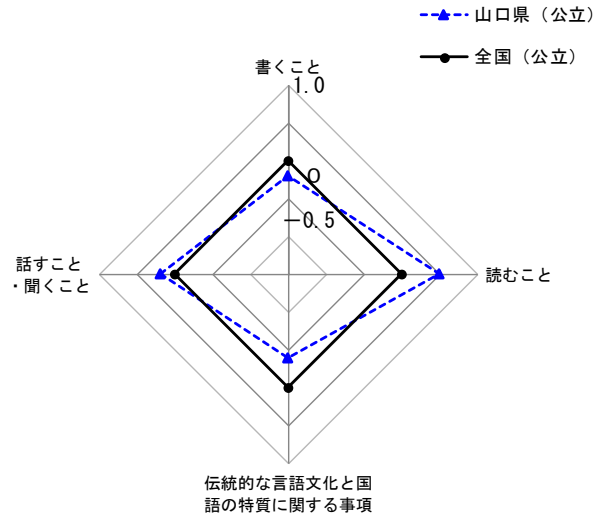
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	16			
数と計算	4	63.2	63.1	+0.1
図形	3	57.1	57.9	-0.8
測定	3	74.8	74.8	0.0
変化と関係	3	75.2	75.9	-0.7
データの活用	5	74.1	76.0	-1.9



## 【中学校 国語】

「話すこと・聞くこと」「読むこと」については、全国平均をやや上回っている。  
 「書くこと」については、全国平均と同程度であり、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国平均をやや下回っている。

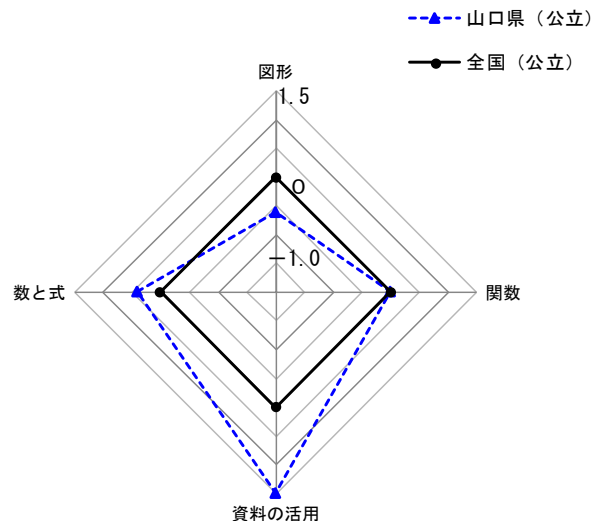
	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	14			
話すこと・聞くこと	3	80.1	79.8	+0.3
書くこと	3	56.9	57.1	-0.2
読むこと	4	49.0	48.5	+0.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	74.7	75.1	-0.4



## 【中学校 数学】

「数と式」については、全国平均をやや上回り、「資料の活用」については、全国平均を上回っている。「関数」については、全国平均と同程度、「図形」については、全国平均をやや下回っている。



	問題数	平均正答率(%)		全国との差
		山口県	全国	
全体	16			
数と式	5	65.3	64.9	+0.4
図形	4	50.8	51.4	-0.6
関数	3	56.4	56.4	0
資料の活用	4	55.3	53.8	+1.5





### ③正答数分布

[グラフについて]

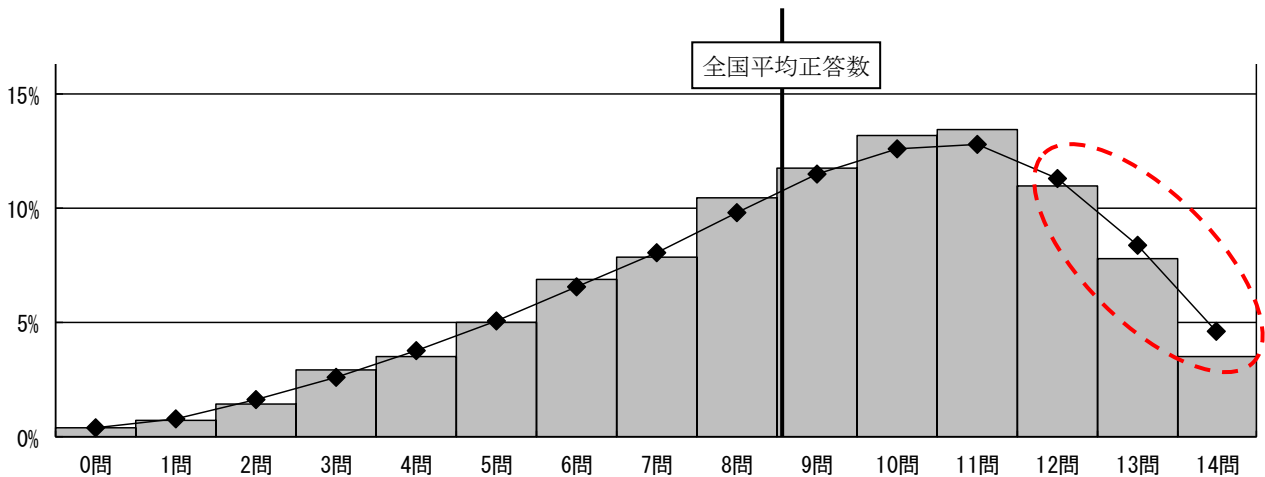
横軸は児童生徒が正答した問題数、縦軸は正答数ごとの児童生徒の割合(%)を示している。

 成果と見られる部分  
 課題と見られる部分

凡例  山口県  
 全国

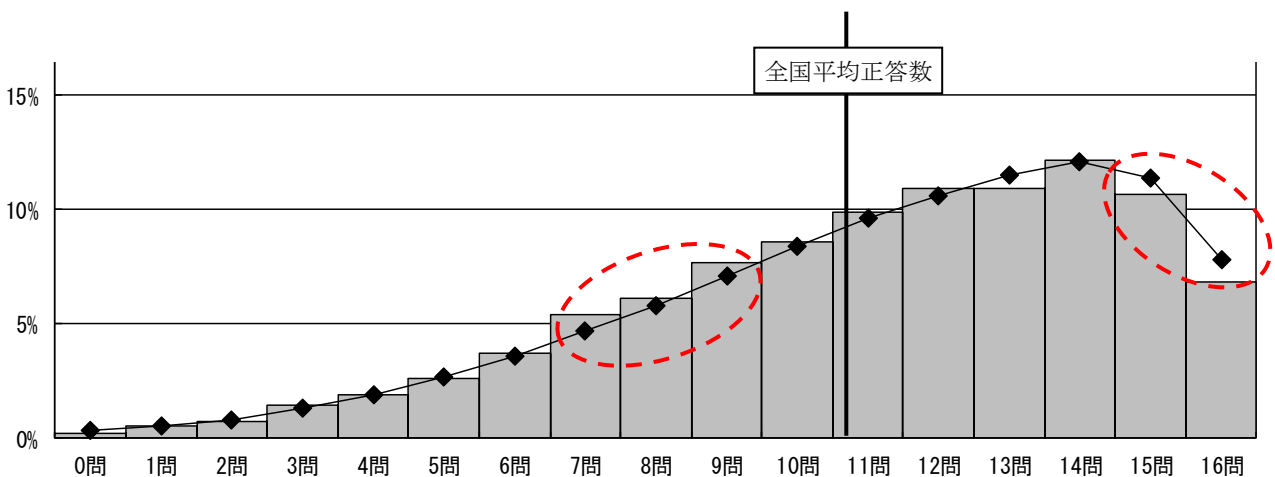
#### 【小学校 国語】(平均正答率 山口県 64%、全国 64.7%)

全国平均正答率と同程度であり、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ全問正答の児童の割合がやや低い。



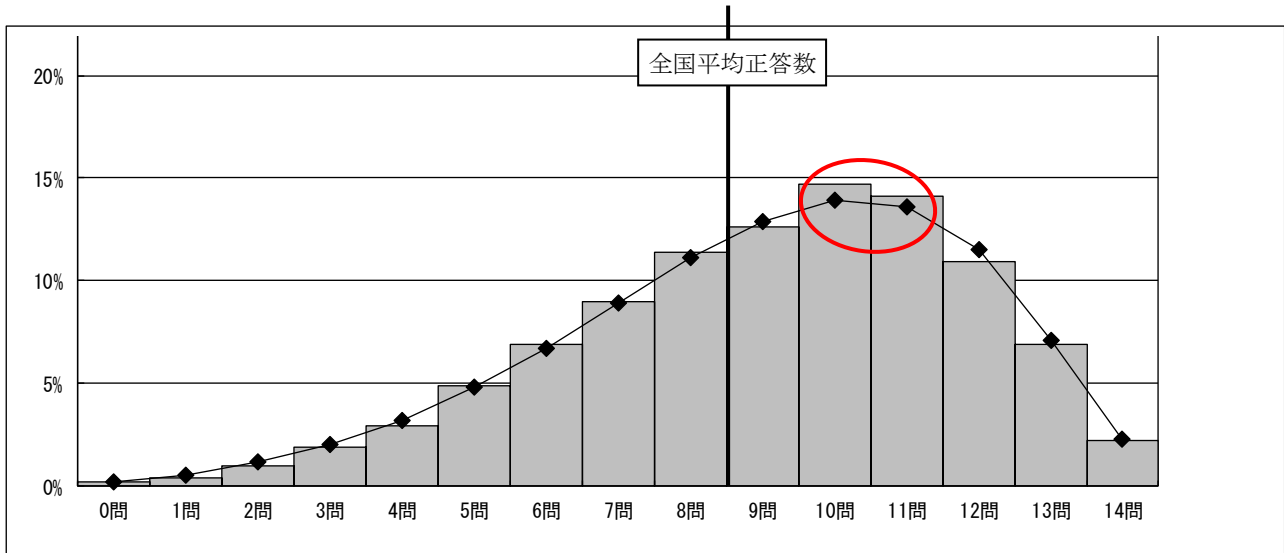
#### 【小学校 算数】(平均正答率 山口県 69%、全国 70.2%)

全国平均正答率と同程度であり、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い児童の割合がやや低く、全国平均正答数より少ない正答数の児童の割合がやや高い。



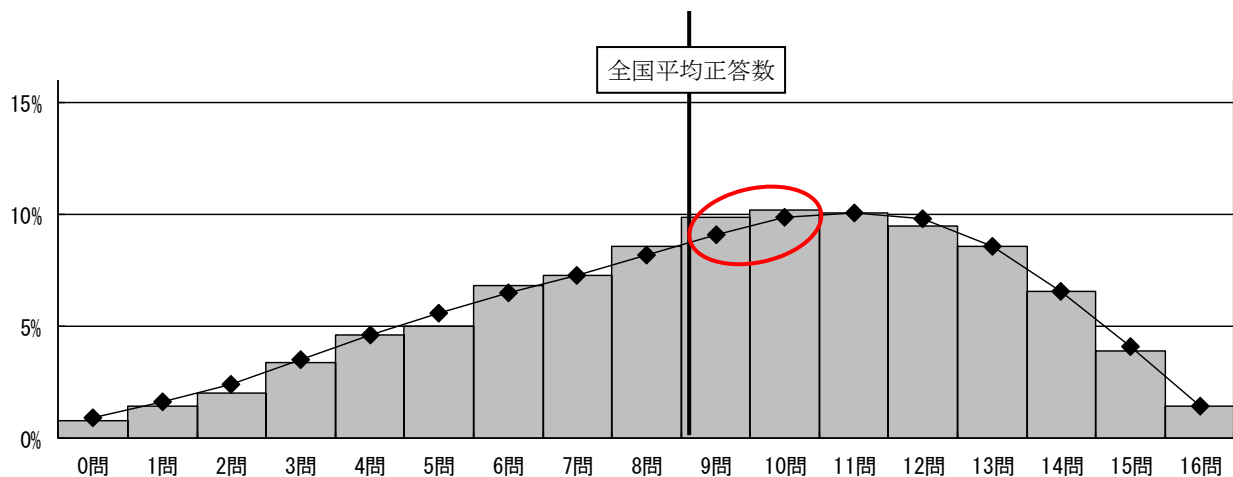
【中学校 国語】（平均正答率 山口県 65%、全国 64.6%）

全国平均正答率と同程度であり、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。



【中学校 数学】（平均正答率 山口県 58%、全国 57.2%）

全国平均正答率と同程度であり、全国と同様の分布状況にあるが、全国と比べ正答数の多い生徒の割合がやや高い。





(3) - ① 具体的な問題と解答状況 - 小学校国語 -

○相当数の児童ができている点

○ 「目的や意図に応じ、資料を使って話すこと」について、正答率が高い。

1 三

1

上野さんの学級では、興味をもった人物について調べ、スピーチで紹介し合うことにしました。上野さんは、津田梅子について調べ、メモをもとに資料を画面に映しながらスピーチの練習をしています。次は、上野さんの「スピーチメモ」、「スピーチ」から「資料④」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【スピーチメモ】

【スピーチ】

「はじめ」  
 ○話題の提示 (資料①)  
 ・新五千円札の「顔」  
 ・津田さんの説明

「中」  
 ○津田さんの業績  
 ・業績1 (資料②)  
 ・業績2 (資料③)  
 ・業績3 (資料④)  
 女性の英語教師を育成

「終わり」  
 ○自分の感想

「(資料①)を示す」みなさん、これを見てください。今度新しい五千円札の「顔」となるのは、津田梅子さんです。私は、どのような業績を残した人なのかを調べてみました。

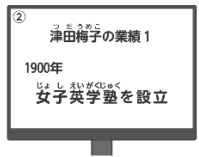
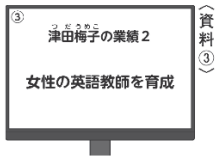
津田さんは、今から約百年前の教育者で、女子教育の発展に力を尽くした人です。日本初の女子留学生として六歳から十一年間、アメリカで教育を受けた津田さんは、女性のための新しい学校を日本につくりたいという夢をもつようになり、津田さんは、社会に出て活躍する女性を育てる教育の実現を目指したのです。そんな津田さんの業績の中から、二つのことを紹介します。

(資料②)を示す)一つは、「女子英学塾」を設立したこと。津田さんは、二十四歳で再びアメリカに渡り、大学で学びます。そして一九〇〇年、三十五歳のときに、日本で学校を設立するという長年の夢を実現しました。これが女子英学塾で、今の大学と同じような勉強をする学校です。当時の日本には、女性の通えるこのような学校がほとんどありませんでした。

(資料③)を示す)もう一つの業績は、この学校で女性の英語教師を育成したこと。女子英学塾では、学生が英語教師の資格をとることを目標にかけつけていました。津田さんは、授業の中で、よく学生たちと英語で議論を交わしました。学生がどんな意見を言っても批判することはありませんでしたが、はっきりと自分の意見を言わないときは厳しく指導をしました。そして開校から三年後、第一回卒業生の半数以上が、女性で初めての英語教師の資格試験の合格者となりました。

(資料④)を示す)この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。

津田さんは、信念をもって夢を成し遂げ、新たな道を切り開いた人だと思っています。津田さんの、だれもが社会で活躍する可能性を広げた業績は、素晴らしいと思います。私は、津田さんのこの業績が、新しいお札の「顔」となることにつながったのだと思います。



【資料④】

三 上野さんは、「スピーチ」の練習をふり返り、この部分で(資料④)についての説明を加えて話すことにしました。上野さんは、どのように話すとよいですか。次の「スピーチの一部」の番号を書きましょう。

【スピーチの一部】

(資料④)を示す)この地図を見てください。このように、津田さんは、社会に出て活躍する女性を世の中に送り出したのです。



- 1 黒丸の印(○)の分布が示すように、教師になった卒業生は、一生懸命に学びました。
- 2 黒丸の印(●)の分布が示すように、教師になった卒業生は、日本のさまざまな地域で働きました。
- 3 黒丸の印(○)の分布が示すように、教師になった卒業生の数は、年ごとに増えていきました。
- 4 黒丸の印(○)の分布が示すように、教師になった卒業生の勤務校は、一部の地域にかたよっていました。

【正答】 1 三 2

	正答率
山口県	81.0%
全国	81.0%

●課題のみられる点

● 「目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けること」について、課題がみられる。

2 三

短時間でヘッドレストカバーを交換する必要があります。そのため、一つ一つ取り外さなければならぬ。ホックやボタンより、留め外しの簡単な面ファスナーの方が、留め具として適しているのです。誰かが注目する新幹線に使われたことで話題となり、その存在が日本中に知られるようになりました。

一九八〇年代には、私たちの身近にある製品でも使われるようになりました。財布やかばん、かさなどの家庭用品をはじめ、サポーターや血圧計の巻き付けバンドなどの医療用品にも広がっていきました。布のように柔軟性があり、物や体の形にぴったり合わせることでできる面ファスナーが適していたからです。中でも大流行したのが、面ファスナーを使った運動着でした。ひもぐつに比べ、手間をかけずに目的や好みに合わせてしめぐちを調節することができるよさが支持されたのです。同時に、素材の開発も進められました。現在では水に強く熱にも強い素材で作られているものもあります。

また、しつかりとくっつき簡単にはがすことができる面ファスナーは、宇宙でも使われています。地球のまわりを回る国際宇宙ステーションの中は無重力状態のため、物がうかびます。そこで活躍しているのが面ファスナーです。国際宇宙ステーション内のかべや天井には、あらゆる場所に面ファスナーがつけられています。ペンやスプーン、カメラやコンピュータなど、身の回りの全ての物が固定できるようになっているのです。

一人の気づきから誕生した面ファスナーは、人びとの要求に応える形で、活躍の場を広げました。身近な生活場面だけでなく、宇宙空間にまで広がり、さらなる便利さが追求されています。

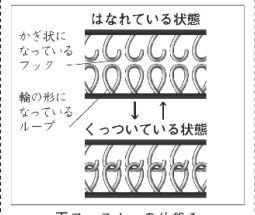


国際宇宙ステーションとその内部

面ファスナーは、かさやくつなど、さまざまな製品の留め具として使われています。簡単にくっつけたり、はがしたりすることができ、とても便利な道具です。

面ファスナーは、一九四八年にスイスで起こったあるできごとがきっかけで開発されました。狩猟のため、愛犬をつれて山に登ったジョルジュ・デ・メストラルは、犬の毛に野生のゴボウの実がたくさんついていて、に気がつくきました。不思議に思い、その実を持ち帰って顕微鏡でくわしく調べてみると、ゴボウの実は先の曲がったかぎ状のトゲでおおわれていることがわかりました。そのトゲが犬の毛にからみついていたのです。このことをヒントにメストラルは研究を重ね、数年後、特殊な素材を使い、面ファスナーを作り出しました。

一九六〇年に、日本ではじめて面ファスナーの製造・販売が始まりました。しかし、そのよさや使い道はなかなか世の中に伝わりませんでした。広く知られるようになったきっかけは、一九六四年十月の東海道新幹線の開業でした。新幹線の座席のヘッドレストカバー（頭をおでる布）の留め具として、面ファスナーが採用されたのです。新幹線の清掃作業の際には、




はなれている状態  
かぎ状のフック  
輪の形に  
なっているループ  
くっついている状態

面ファスナーの仕組み

2 相川さんの学級では、身近にある便利なものについて調べています。相川さんは、面ファスナーを選びました。次は、相川さんが読んだ【資料】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】



【正答例】 2 三

メストラルは、ゴボウの実が犬の毛にからみついていたことをヒントに、かぎ状のフックが輪の形をしたループに引っかかることでくっつく仕組みの面ファスナーを作り出した。（80字）


	正答率
山口県	33.3%
全国	34.4%

※左のけんこ用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。どちらのようで行を渡さないで、続けて書きましょう。

三 相川さんは、【資料】の——部を読み、面ファスナーのくっつく仕組みについて考えています。メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出しましたか。次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- ヒントになったことと、面ファスナーのくっつく仕組みが分かるように書くこと。
- 【資料】の中の文章と、——の「面ファスナーの仕組み」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 五十文字以上、八十文字以内にまとめて書くこと。



相川さん

○改善傾向がみられる点

○ 「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」について改善傾向がみられる。

3 二

3 丸山さんの学級では、国語の学習で、気持ちよく学校生活を送ることができるよう、自分の考えを学級の友達に主張する文章を書くことになりました。次は、丸山さんが書いた「文章の下書き」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の下書き】

一人一人が責任をもってかたづけよう

丸山 理子

わたしは、だれもが気持ちよく生活するために、一人一人が責任をもって使った物をかたづけることが大切だと考えます。

みなさんは、休み時間後の校庭にボールが残されたまま、アころがっているのを見かけたことはありませんか。わたしは、ときどき見かけることがあります。イ時には、みんなが使っていた輪車がかたづけられずに残されています。また、遊具置き場では、一輪車や竹馬が決められた所に置かれず、すみの方にうつみ重ねられています。かたづけわすれたり時間がなくてかたづけられなかったりすることが、エけんいんのだと思えます。オその他にも、遊び終わったらずぐに遊具をかたづけることがむずかしい場合もあるでしょう。それでも、きちんとかたづければ、わたしたちは気持ちよく遊ぶことができると思います。

きちんとかたづけることが大切ならば、そうじたん当の人などがかたづければよいという考えもあるかもしれませんが、確かに、たん当が決まっていれば、その人がかたづけてくれるでしょう。しかし、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。

遊具だけではありません。そうじの道具や図書館の本も、使った人が元の場所にきちんとかたづけておけば、次に使う人は気持ちよく利用することができると思います。

学校の中がきれいになると、わたしたちは気持ちよく生活できます。そのためにも、わたしは、一人一人が責任をもってかたづけることが大切だと考えます。

二 丸山さんは、部「そうじたん当の人などがかたづければよい」と考える人を説得するために、「西田さんの話」を用いて「文章の下書き」の……部をくわしく書き直そうとしています。あどの条件に合わせて書きましょう。

【西田さんの話】（遊具置き場のそうじ担当）

毎日、そうじ担当が協力して遊具をかたづけています。でも、そのために時間が足りなくなってしまう、はきそうじやふきそうじまで手が回らなくなることもあります。そんなときは、きれいにそうじができなくて困ります。



（条件）

- 「そうじたん当の人などがかたづければよい」という考えに反対する意見と、その理由を書くこと。
- 「西田さんの話」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内で書くこと。

【正答例】 3 二

しかし、遊具置き場のそうじは、かたづけで時間が足りなくなり、はきそうじやふきそうじに手が回らないことがあるそうです。たん当の人だけに任せると大変なので、わたしは、使った人がかたづけるべきだと思います。（100字）

	正答率
山口県	59.1%
全国	56.6%

(3) - ② 具体的な問題と解答状況 - 小学校算数 -

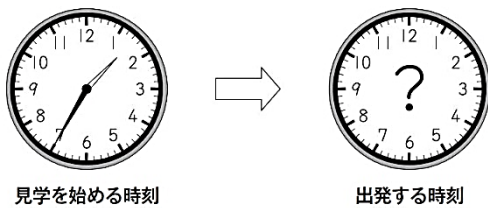
○相当数の児童ができている点

○ 「条件に合う時刻を求めること」について、正答率が高い。

1 (4)

(4) たけるさんたちは、城に着きました。  
午後1時35分から見学を始めて、50分後に出発することになりました。  
出発する時刻は午後何時何分ですか。その時刻を書きましょう。

【正答】 1 (4) 午後2時25分



	正答率
山口県	90.0%
全国	89.2%

○ 「棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ること」について、正答率が高い。

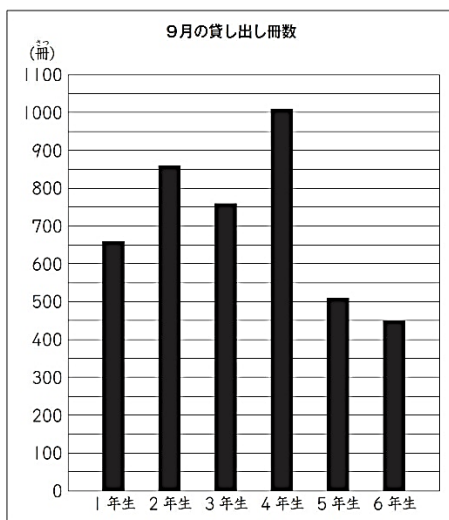
3 (1) (2)

ひよりさんたちは、10月の図書委員会で、図書室の本の貸し出しの様子について話し合っています。



最近、5年生と6年生は、ほかの学年より本を借りていないのではないのでしょうか。

そこで、9月の貸し出し冊数を調べ、下のグラフに表しました。



(1) 左のグラフの、6年生の貸し出し冊数は何冊ですか。  
下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 401冊
- イ 405冊
- ウ 410冊
- エ 450冊

(2) 9月の貸し出し冊数について、左のグラフからどのようなことがわかりますか。  
下のアからエまでの中から、最もふさわしいものを1つ選んで、その記号を書きましょう。

- ア 貸し出し冊数がいちばん多い学年は、2年生である。
- イ 2年生の貸し出し冊数は、3年生の貸し出し冊数の約2倍である。
- ウ 5年生の貸し出し冊数は、4年生の貸し出し冊数の半分くらいである。
- エ 1年生と3年生の貸し出し冊数の差は、約200冊である。

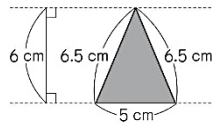
【正答】 3 (1) エ (2) ウ

(1)	正答率	(2)	正答率
山口県	95.6%	山口県	90.5%
全国	95.8%	全国	90.7%

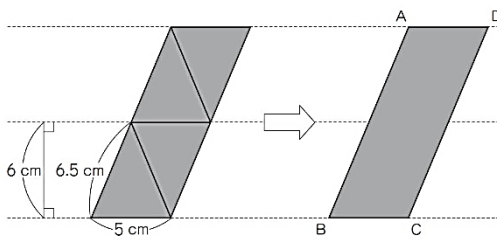
●課題のみられる点

- 「複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述すること」について、課題がみられる。

2 (3) (3) 次のような二等辺三角形があります。



上の二等辺三角形を4つ使い、次のように、同じ長さの辺どうしを合わせて、平行四辺形ABCDをつくりました。



平行四辺形の面積の公式を使って、平行四辺形ABCDの面積を求めます。

辺BCを底辺としたときの面積の求め方を、式や言葉を使って書きましょう。そのとき、平行四辺形ABCDの高さをどのように求めたのかわかるようにしましょう。

また、平行四辺形ABCDの面積が何cm<sup>2</sup>になるのかも書きましょう。

【正答例】 2 (3) 辺BCを底辺としたとき、高さは、 $6 \times 2 = 12$ で、12 cmです。

平行四辺形ABCDの面積は、 $5 \times 12 = 60$ で、60 cm<sup>2</sup>です。

	正答率
山口県	44.4%
全国	46.0%

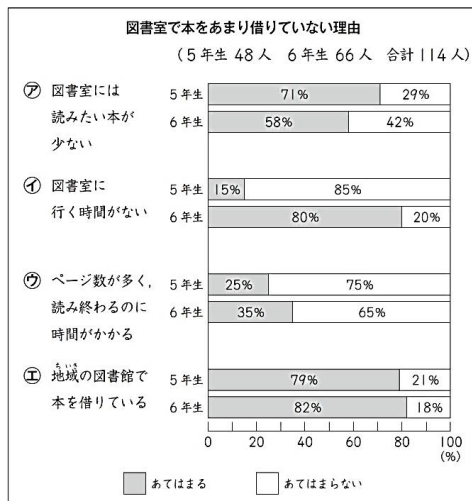
- 「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述すること」について、課題がみられる。

	正答率
山口県	48.6%
全国	52.0%

3 (4) (4) 次に、ひよりさんたちは、読書が好きなのに、図書館で本をあまり借りなかった114人に着目しました。

ひより 図書館で本をあまり借りていない理由について、5年生と6年生で、ちがいがあのでしょうか。

そこで、114人分のアンケート調査の結果を、5年生と6年生に分けて、下のグラフに表しました。



ひよりさんたちは、左のグラフをもとに、気づいたことについて話合っています。

そうたさんとあやのさんは、左のグラフの中の㊦から㊩までの4つの項目について、「あてはまる」と答えた人の割合に着目しました。

そうた 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が同じくらいの項目があります。

あやの 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合が大きくちがう項目もありますね。

左のグラフについて、5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きい項目はどれですか。また、その項目について、「あてはまる」と答えた5年生と6年生の割合はそれぞれ何%ですか。

項目とそれぞれの割合を、言葉と数を使って書きましょう。

【正答例】 3 (4) 5年生と6年生で、「あてはまる」と答えた人の割合のちがいが、いちばん大きいこう目は、㊧図書館に行く時間がないです。5年生が15%で、6年生が80%です。


○改善傾向がみられる点

○ 「小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述すること」について、改善傾向がみられる。

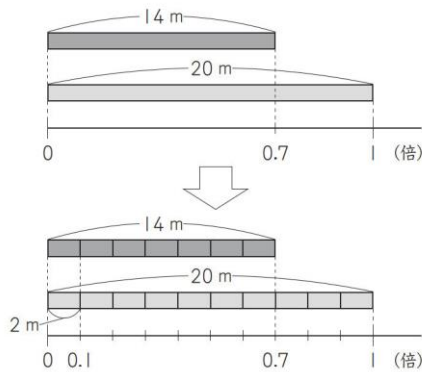
4 (3)

(3) 14 mのテープと20 mのテープがあります。  
こはるさんたちは、14 mは20 mの何倍かについて考えています。


  $14 \div 20 = 0.7$ で、0.7倍です。0.7倍というのは、20 mを1としたとき、14 mが0.7にあたることを表していましたね。

 20 mを1としたとき、14 mが本当に0.7にあたるのかな。

れんどさんの話を聞いて、ゆうまさんは、20 mを1としたときに14 mが0.7にあたるわけについて、20 mを10等分した1つ分の長さが0.1にあたることをもとにして考え、下のように図をかいて説明しました。



【ゆうまさんの説明】

 20 mを1としたとき、0.1にあたる長さは2 mです。  
14 mは、2 mの7つ分になるので、20 mを1としたときの0.7にあたります。

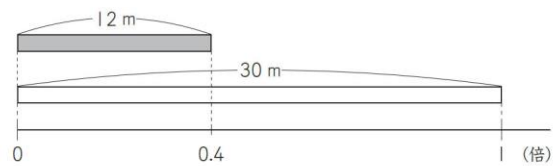
12 mのテープと30 mのテープもあります。  
たくみさんたちは、12 mは30 mの何倍かについて考えています。

  $12 \div 30 = 0.4$ で、0.4倍です。

 30 mを1としたとき、12 mが本当に0.4にあたるのかな。

30 mを1としたときに12 mが0.4にあたるわけを、【ゆうまさんの説明】と同じように、0.1にあたる長さがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

※ 必要ならば、下の図を使って考えてもかまいません。



【正答例】 4 (3)

30 mを1としたとき、0.1にあたる長さは3 mです。

12 mは、3 mの4つ分になるので、30 mを1としたときの0.4にあたります。

	正答率
山口県	54.4%
全国	51.5%

(3) -③ 具体的な問題と解答状況 - 中学校国語 -


○相当数の生徒ができている点


○ 「質問の意図を捉えること」について、正答率が高い。


1 二


- 1 石川さんの発言の中で納得できなかったことについて、発言の根拠を明らかにするために質問をしている。
- 2 石川さんの発言の中で理解できなかったことについて、発言の意図を確かめるために質問をしている。
- 3 石川さんの発言の中で関心をもったことについて、さらに詳しく知るために質問をしている。
- 4 石川さんの発言の中で共感したことについて、共通点を明確にするために質問をしている。


二 【話し合いの一部】における青空中学校の山下さんの発言⑤について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。


①  第一中学校 本田さん(司会)  
各校の取り組みについて、質疑応答に入ります。今日は、原則として、一つの質問に対する答えが終わってから、次の質問をするようにしてください。地域清掃活動を活性化させるために、他校に聞きたいことはありませんか。

②  青空中学校 山下さん  
第一中学校に質問があります。担当する清掃場所を細かく分ける取り組みに興味をもったのですが、その取り組みで清掃活動はどのように活性化したのですか。

③  第一中学校 石川さん  
第一中学校では、清掃場所を細かく分け、担当する場所を自分たちで決めることによって、一人一人が責任をもって活動するようになりました。また、本校は地域の方と合同で清掃活動を行っているのですが、そのための事前打ち合わせに、昨年度は担当場所の代表も参加しました。その結果、地域の方といっそう協力して取り組むことができるようになりました。

④  第一中学校 本田さん(司会)  
一人一人が責任をもって活動するようになったということですね。また、地域の方との打ち合わせに担当場所の代表が参加したことも、活性化につながったということでした。青空中学校の山下さん、よろしいですか。

⑤  青空中学校 山下さん  
はい。ありがとうございます。青空中学校では、生徒だけで清掃活動を行っていますが、今後は地域の方と合同で行うことも検討してみたいと思います。そこで、もう少し質問したいことがあります。第一中学校では、地域の方との合同の清掃活動をどのような手順で進めているのかを、具体的に教えてください。

⑥  西中学校 大野さん  
西中学校でも、地域の方との合同の清掃活動を考えたいと思います。また、実施回数も見直そうと思うのですが、回数を増やしたことで生徒たちの取り組み方がどう変わったのかを、青空中学校に質問したいです。

【正答】 1 二 3

	正答率
山口県	93.4%
全国	92.5%

●課題のみられる点

- 「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつこと」について、課題がみられる。

3 四

3 次は、夏目漱石の作品「吾輩は猫である」の本のカバーに書かれている「紹介」と、「文章の一部」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【紹介】

中学教師の苦沙弥先生の家で暮らす猫「吾輩」から見れば、世の中は全くもって滑稽そのもの。周囲の様子を観察し、様々に評価する。ユーモアあふれる長編小説である本作は、漱石が三十八歳のときに発表して以来、多くの読者に愛されてきた。今なお、多くの人の共感を呼ぶ名作。



4 【紹介】に「線部」様々に評価する」とありますが、「文章の一部」では、「吾輩」は「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしていますか。また、あなたは、そのような「吾輩」の接し方をどう思いますか。次の条件1と条件2にしたがつて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「文章の一部」から、「吾輩」が「黒」を評価している表現を引用した上で、「吾輩」が「黒」にどのような接し方をしていることが分かるのかを書くこと。

条件2 条件1のような「吾輩」の接し方について、あなたの考えを具体的に書くこと。

【正答例】 3 四

「はなはだ御しやすい猫である」と評価しており、「吾輩」は「黒」の機嫌をとるような接し方をしていることが分かる。私は、このような「吾輩」の接し方はとても賢いと思う。

	正答率
山口県	21.1%
全国	20.5%



○改善傾向がみられる点

○ 「書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考えること」について、改善傾向がみられる。

2 二

2

山田さんは、国語の時間に、「言葉の使い方について」というテーマで意見を書いています。次は、山田さんが書いた「意見文の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(1)から(4)は、段落の番号を表します。

【意見文の下書き】

① SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）などを活用し、インターネット上で文字を通したやりとりをする機会が増えてきている。私は、SNSでやりとりをする際は、相手にどう伝わるかをよく考えながら言葉を選んで使うべきだと思う。SNSは少ない文字数で自分の思いや考えを表現することが多く、相手に伝えたいことが正しく伝わらないことがある。<sup>④</sup>(からだ)

② 以前、私は次のような経験をした。SNSを使い、みんなで待ち合わせの相談をしていたときのことである。一人の友達に対して、待ち合わせの場所までの交通手段を尋ねるつもりで「何で来るの。」と書いたところ、「どうして行ってはダメなの。」という返信が来て、はっとさせられたことがあった。友達は、私の言葉を「なぜ来るのか。」という意味で捉えてしまったのだ。そのとき私が、友達に誤解を与えないように<sup>⑤</sup>(「集合場所までどうやって来るの。」)と書けば、このようなことは起こらなかっただろう。

③ 皆さんの中には、友達同士であれば短い言葉でも十分に意思疎通が図れると考えたり、短い言葉でやりとりができる手軽さこそがSNSのよさだと考えたりする人もいるだろう。しかし、伝えたいことが正しく伝わらなければ、私が経験したように相手に誤解を与え、不快な思いをさせてしまうこともあるのだ。

④ SNSで自分の思いや考えを表現する場合には、内容を相手に正しく伝えるために、言葉を十分に吟味して使うことが大切だ。少なくともあの経験以来、私は、SNSを使ってやりとりをする際には、自分が書いた言葉が必ず読み返してから発信するようにしている。

二 山田さんが書いた「意見文の下書き」の構成にはどのような工夫がありますか。複数の段落に着目して、あなたの考えを書きなさい。その際、①、②などの段落の番号を示しながら書くこと。

なお、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【正答例】 2 二

①段落で自分の意見を述べ、④段落で繰り返し述べるという工夫があり、伝えたいことが明確になっていてよいと思う。

	正答率
山口県	75.5%
全国	74.5%

(3) - ④ 具体的な問題と解答状況 - 中学校数学 -

○相当数の生徒ができている点

○ 「与えられたデータから中央値を求めること」について、正答率が高い。

5 下の記録は、ある中学校の男子生徒10人が反復横とびを20秒間行ったときの結果を、回数の少ない方から順に並べたものです。

記録

43	46	46	52	53	55	56	56	56	57
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(単位：回)

反復横とびの記録の中央値を求めなさい。

【正答】 5 54

	正答率
山口県	85.6%
全 国	84.5%

○ 「ヒストグラムからある階級の度数を読み取ること」について、正答率が高い。

8 桃花さんは、5月にA市のキャンプ場に行くことになりました。キャンプの準備をするために、キャンプ場の過ごしやすさについて、気候に着目し、A市の昨年5月の最高気温、最低気温、日照時間、最大瞬間風速、降水量をインターネットで調べました。さらに、調べた最高気温から最低気温をひいて気温差を求め、下の表のようにまとめました。

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

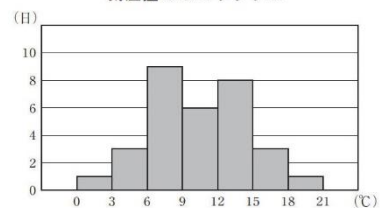
(1) 桃花さんは、前ページの調べたことの表から、気温差が大きい日や小さい日があることが気になり、気温差の分布のようすを、次のヒストグラムにまとめました。例えば、気温差が3℃以上6℃未満の日が3日あったことを表しています。

調べたこと

日付	最高気温(℃)	最低気温(℃)	気温差(℃)	日照時間(時間)	最大瞬間風速(m/秒)	降水量(mm)
1日	20.9	6.9	14.0	5.8	7.4	0.0
2日	25.9	9.1	16.8	12.0	7.3	0.0
3日	27.3	12.8	14.5	10.3	8.2	0.0
4日	20.3	11.8	8.5	2.5	9.5	0.0
5日	23.5	9.4	14.1	9.9	11.9	0.5
6日	13.2	5.5	7.7	0.1	8.7	2.0
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
31日	20.9	9.2	11.7	2.2	9.1	0.0

○日照時間とは、1日のうちで、日光によってものの影ができた時間の合計のこと。

気温差のヒストグラム



気温差が9℃以上12℃未満の階級の度数を求めなさい。

【正答】 8 (1) 6

	正答率
山口県	85.0%
全 国	83.0%

●課題のみられる点

- 「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」について、課題がみられる。

	正答率
山口県	28.3%
全国	27.7%

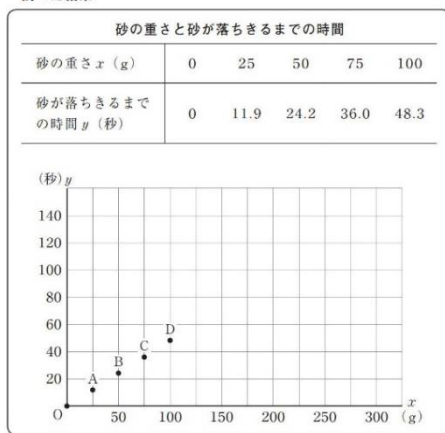
7 (2)

7 学級委員の健斗さんは、2分間スピーチの時間をはかるための砂時計をペットボトルで作ることにしました。その砂時計は、ペットボトルに砂を入れ、砂を通すための穴をあけた厚紙をペットボトルの間にはさんで作ります。



健斗さんは、ペットボトルに入れる砂の重さを決めると、砂が落ちきるまでの時間が決まると考えました。そこで、砂の重さが  $x$  g のときに、砂が落ち始めてから落ちきるまでの時間を  $y$  秒として調べ、その結果を、次のように表にまとめ、下のグラフに表しました。

調べた結果



(2) 健斗さんは、2分をはかるために、砂時計に必要な砂の重さを調べます。

そこで、調べた結果のグラフにおいて、原点  $O$  から点  $D$  までの点が一直線上にあるとし、砂の重さが増えてもすべての点が同じ直線上にあると考えることにしました。

このとき、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に必要な砂の重さを求める必要はありません。

【正答例】 7 (2) 原点  $O$  を通る直線のグラフをかき、 $y=120$  のときの  $x$  座標を読む。

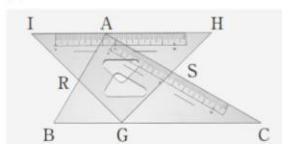
- 「ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現すること」について、課題がみられる。

9 (3)

(3) 二人は、左に動かす三角定規を、斜辺を底辺としたときの高さが  $\triangle ABC$  と等しい  $45^\circ, 45^\circ, 90^\circ$  の三角定規に変えて、重なったところになる四角形について考えることにしました。

右の図6のように、 $45^\circ, 45^\circ, 90^\circ$  の三角定規を  $\triangle GHI$  とし、辺  $AB$  と辺  $IG$ 、辺  $HG$  と辺  $AC$  の交点をそれぞれ点  $R, S$  とすると、四角形  $ARGS$  ができます。

図6



点  $G$  が辺  $BC$  上にあり、辺  $HI$  が辺  $BC$  と平行になるように、 $\triangle GHI$  を左に動かしたとき、二人は、四角形  $ARGS$  が長方形になると考え、次のような図7、図8をかきました。

図7

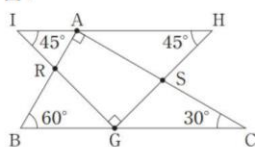
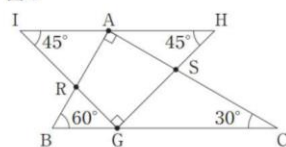


図8



二人は、図7、図8で、四角形  $ARGS$  が長方形にならないことから、四角形  $ARGS$  がどんな四角形になるか話し合っています。

直輝さん「 $\triangle GHI$  を動かすと四角形  $ARGS$  の4つの辺の長さはそれぞれ長くなったり短くなったりするよ。角の大きさはどうなるかな。」  
由衣さん「 $\angle RAS$  と  $\angle RGS$  の大きさはそれぞれ  $90^\circ$  で変わらないね。 $\angle ARG$  と  $\angle ASG$  の大きさはどうかかな。」

$\triangle GHI$  を動かしても、四角形  $ARGS$  の  $\angle ARG$  と  $\angle ASG$  の和はいつでも  $180^\circ$  になります。このほかに、 $\angle ARG$ 、 $\angle ASG$  の大きさについて、いつでもいえることを書きなさい。

	正答率
山口県	26.5%
全国	28.8%

【正答例】 9 (3)  $\angle ARG$ 、 $\angle ASG$  のそれぞれの大きさは変わらない。

○改善傾向がみられる点

○ 「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること」について、改善傾向がみられる。

6 (2)

6 自然数を5つずつに区切った表があります。この表で、縦に2つ、横に2つの数が入る四角で4つの数を囲みます。例えば、右の図1のように四角で4つの数を囲むとき、左上の数は3、右上の数は4、左下の数は8、右下の数は9になります。

図1

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15

優太さんと真菜さんは、右の図2のように、4つの数を囲んで、それら4つの数の和がどんな数になるかを調べています。

図2

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35

1, 2, 6, 7のとき  $1 + 2 + 6 + 7 = 16 = 4 \times 4$   
 9, 10, 14, 15のとき  $9 + 10 + 14 + 15 = 48 = 4 \times 12$   
 22, 23, 27, 28のとき  $22 + 23 + 27 + 28 = 100 = 4 \times 25$

優太さんは、これらの結果から、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になると予想しました。

(2) 二人は、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることが成り立つかどうかについて話し合っています。

優太さん「左上の数が1のとき、左下の数が6になっているね。四角で4つの数を囲むとき、左上の数に5をたすと左下の数になっているよ。」  
 真菜さん「そうなるのは、自然数を5つずつで区切っているからだね。」  
 優太さん「左上の数を  $n$  とすると、左下の数は  $n+5$  と表すことができるね。」  
 真菜さん「右上の数と右下の数も  $n$  を使って表して、4つの数の和について調べてみよう。」

「四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になる」という優太さんの予想が成り立つことの説明を完成しなさい。

説明

$n$  を自然数として、四角で囲んだ4つの数のうち、左上の数を  $n$  とすると、右上の数は  $n+1$ 、左下の数は  $n+5$ 、右下の数は  $n+6$  と表される。これら4つの数の和は、

$$n + (n + 1) + (n + 5) + (n + 6)$$

$$=$$

【正答例】6 (2)

$n+3$  は自然数だから、 $4(n+3)$  は4の倍数である。したがって、四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数である。

	正答率
山口県	63.1%
全国	61.8%